

戸別収集モデル事業に関するアンケート調査結果について

1 はじめに

本市では、家庭ごみの適正な分別の促進をはじめ、高齢者や障がい者への新たな福祉サービスを目的として、平成28年7月から市内一部区域において、戸別収集のモデル事業を実施しました。

本事業は、戸別収集の市内段階的導入に向け試行するものであり、試行期間は、概ね2年程度としております。

今後、更なる検討を進めるに当たり、モデル事業対象世帯の皆様のごみの排出実態や戸別収集に対する満足度などを把握するため、アンケート調査を実施しました。

2 調査の概要

(1) 調査期間

平成28年11月～平成29年1月

(2) 調査方法

各世帯（各戸）にアンケート用紙を配布

回答は返信用封筒での送付を依頼

3 回答状況

(1) 配布数：3,126件

(2) 回答数：1,740件

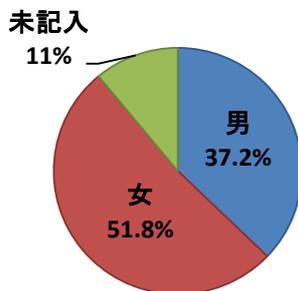
(3) 回答率：55.7%

4 アンケート結果

(1) 回答者の属性について

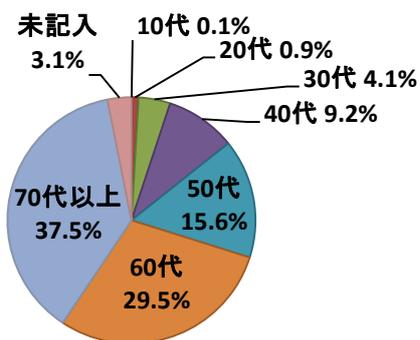
(ア) 性別

男性	647人
女性	901人
未記入	192人



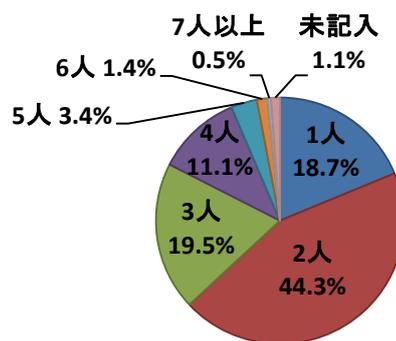
(イ) 年齢

10代	1人	50代	272人
20代	15人	60代	513人
30代	72人	70代以上	653人
40代	160人	未記入	54人



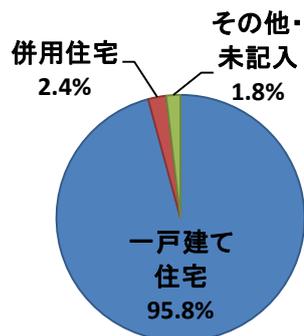
(ウ) 世帯人数

1人	326人	5人	59人
2人	771人	6人	24人
3人	339人	7人以上	8人
4人	193人	未記入	20人



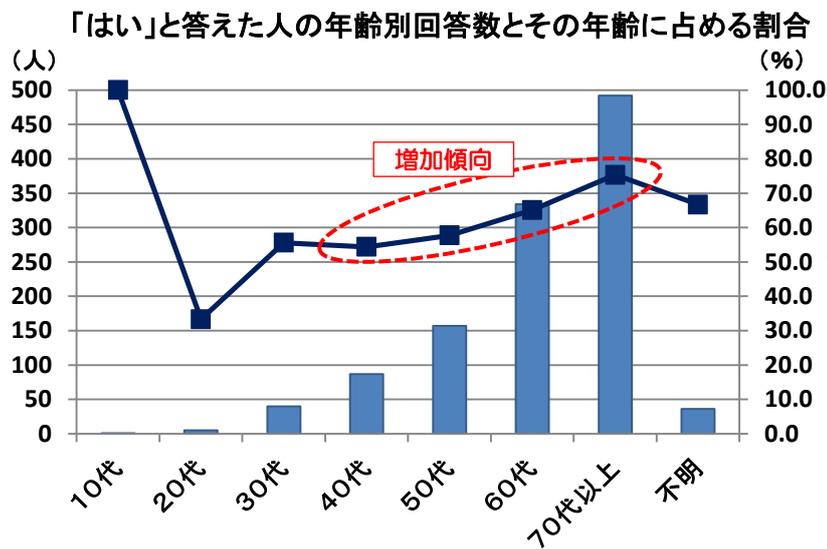
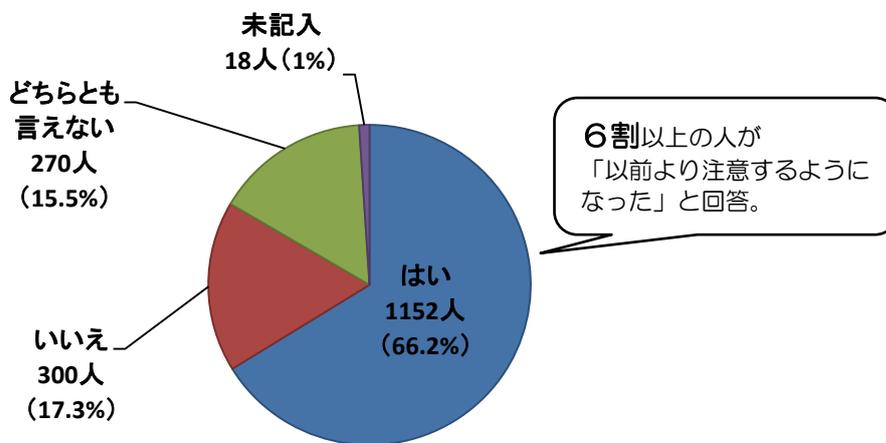
(エ) 住宅の形態

一戸建て住宅	1667人
事務所等との併用住宅	41人
その他・未記入	32人



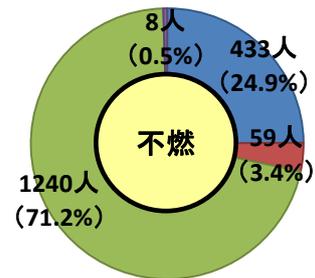
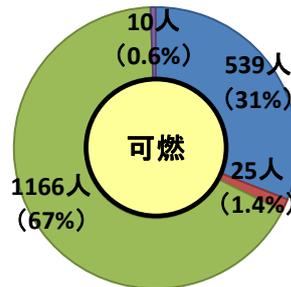
(2) 戸別収集実施後の状況などについて

(ア) ごみの分け方や出し方を以前より注意するようになりましたか。

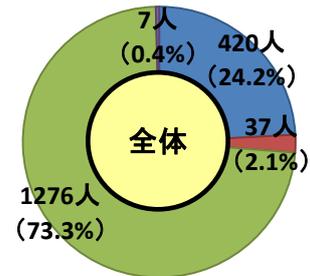
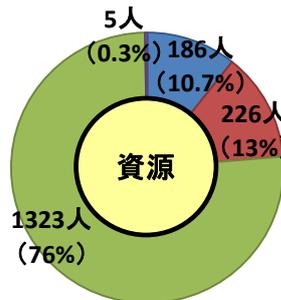


(イ) 以前と比べ、ごみの量にどのような変化がありましたか。

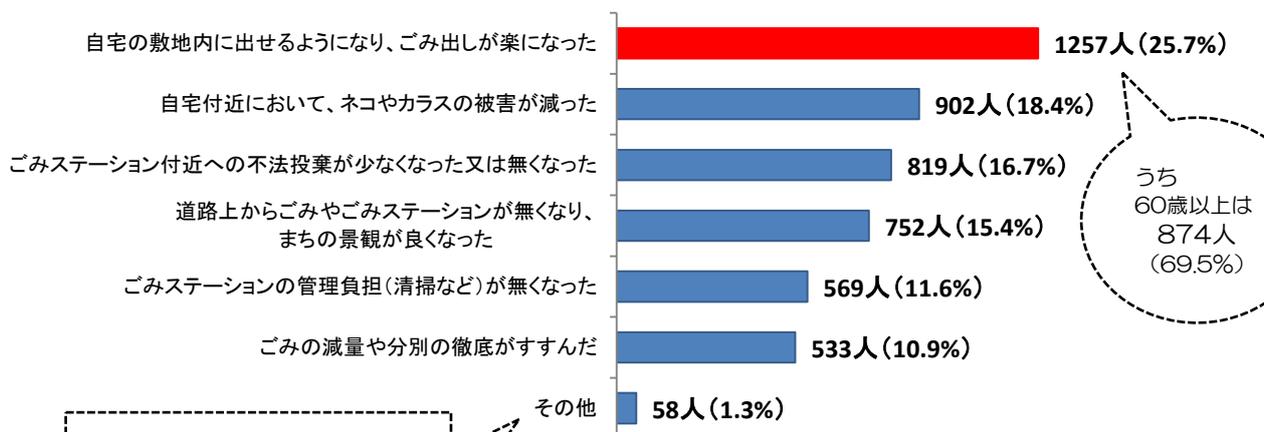
- 減った
- 増えた
- 以前と変わらない
- 未記入



全項目において7割程度の人が「以前と変わらない」と回答したものの、資源は1割以上の方が「増えた」と回答し、その他では2～3割程度の方が「減った」と回答した。



(ウ) 戸別収集にどのような利点を感じましたか。(複数回答可) 回答者：1618人(93%)



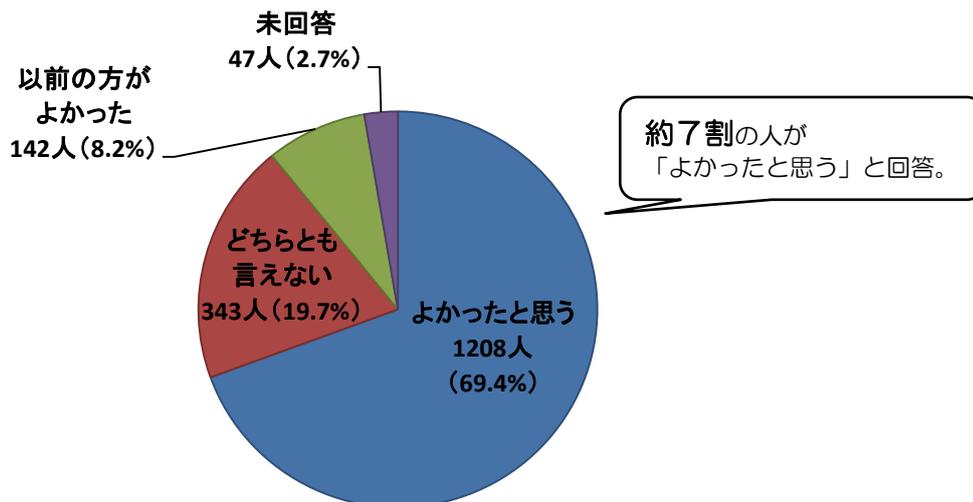
【その他】

- ・排出マナーを守る人が増えた
- ・他人のごみや排出方法を気にせず済む
- ・収集時間が早くなった

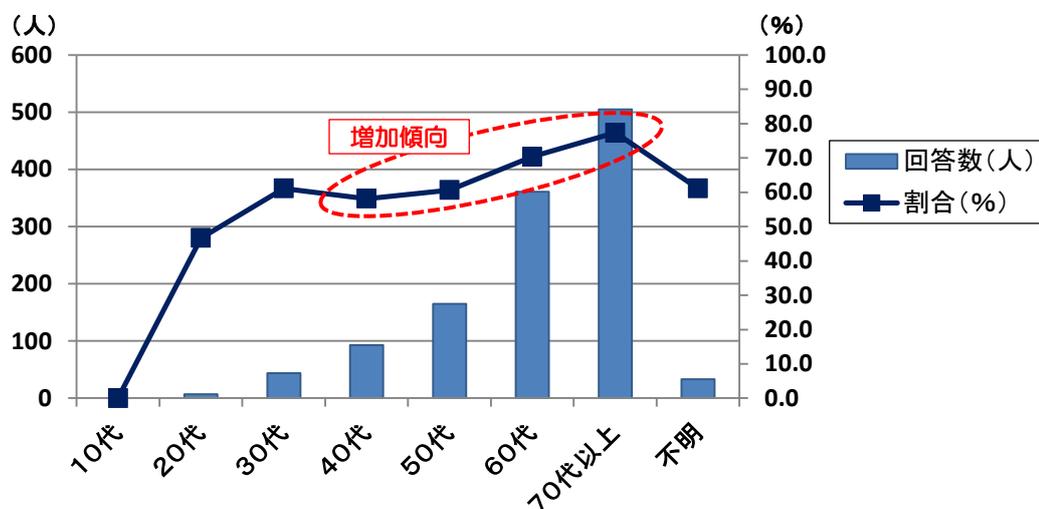
など

「自宅の敷地内に出せるようになり、ごみ出しが楽になった」が25.7%と最も高く、次いで「自宅付近において、ネコやカラスの被害が減った」が18.4%、「ごみステーション付近への不法投棄が少なくなった又は無くなった」が16.7%の順で回答が多かった。

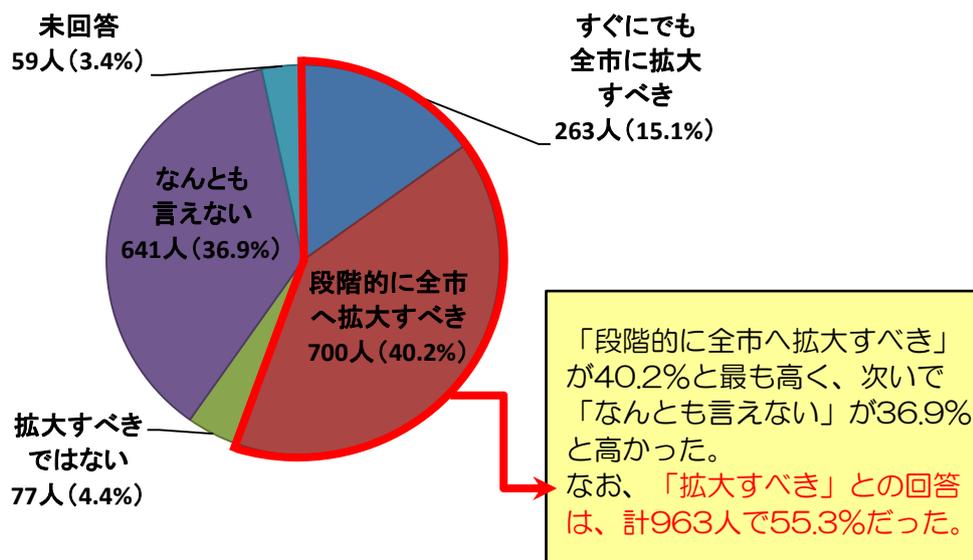
(工) 戸別収集になってよかったと思いますか。



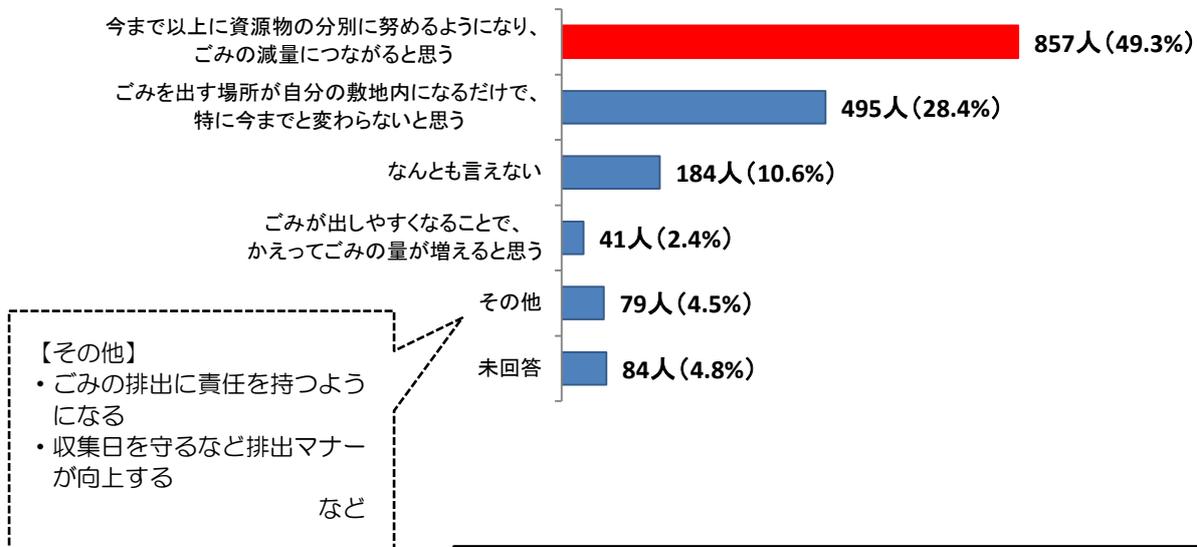
「よかったと思う」と答えた人の年齢別回答数とその年齢に占める割合



(オ) 戸別収集を全市的な取り組みとすることについて、どう思いますか。



(カ) 戸別収集を全市的な取り組みとした場合、市民のごみの出し方はどのように変化するとお考えですか。



「今まで以上に資源物の分別に努めるようになり、ごみの減量につながると思う」が49.3%と最も高く、次いで「ごみを出す場所が自分の敷地内になるだけで、特に今までと変わらないと思う」が28.4%と多かった。